



## ブラジルの文化に触れる活動

ブラジルの食文化や遊びを実際に体験することを通して、外国につながる児童や他国の文化を大切にする気持ちを持たせるため、国際交流派遣員のチアゴ・カナグシクさんと（有）アイエス企画の園山咲子さんにお越しいただき、ブラジルの文化に触れる活動を行いました。

チアゴ・カナグシクさんから、ブラジルの言葉（ポルトガル語）や国旗の由来などについてお話を聞いたり、2年生はビンゴゲーム、3・4年生はブラジル式のじゃんけんと棒を積み上げるゲーム、5・6年生は調理・食べる活動をしたりして、楽しく学びました。下に、活動の様子の写真に併せて、児童の振り返りをご紹介します。



もっとブラジルの文化について知りたいし、日本の良さも紹介して交流を深めたいです。

ブラジルの文化を知らない友達や家族と一緒にブラジルの食事を作って、ブラジルの文化を広めたいです。

今日の勉強で、ポルトガル語のおはようを覚えました。またブラジルの友達にいろいろ聞いてみたいです。

ブラジルについてよく分かったから、これからはもっとブラジルの人とコミュニケーションをとっていきたいです。



## 外国につながる児童の保護者説明会

本校においては、1割程度、外国につながる児童が在籍しています。児童は、日本語初期集中指導教室（出雲科学館内）で日本の学校や社会におけるルールやマナーの指導を受けたり、日本語指導拠点校である本校において、日本語指導を受けたりしているものの、保護者にとっては、児童が学校で何をしているのかよく分からないといった声も聞かれます。そこで、本校においては、これからの学校生活がよりよいものになり、安心して登校できるよう共通理解と一層の連携を図るため、全学年の外国につながる児童の保護者を対象に、保護者説明会を実施しています。

説明会においては、学校生活のきまりや、各学年の一年間の見通しなどについてお話ししています。

